

日本のドラマにおける謝罪表現について

—ベトナム語母語話者の観点から—

A comparative study about apology representation in drama of Japan
—From Vietnamese native speakers' the point of view—

グエン ティー ホア ミー¹

¹大妻女子大学大学院人間文化研究科

Nguyen Thi Hoa My¹

¹Graduate School of Studies in Human Culture, Otsuma Women's University
12 Sanban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 102-8357

キーワード：謝罪表現，日本のドラマ，比較

Key words : Apology representation, Japan's drama, Compare

抄録

日本語の「謝罪表現」については、これまでに様々な研究がなされてきた。本研究では、伊偉芳(2009)「ホスピタリティ産業における謝罪表現—テレビドラマ「ホテルアール」をめぐって—」(『観光学論集』第4巻・長崎国際大学国際観光学会)を踏まえつつ、謝罪表現の使用対象をさらに広げて考察を深めることとする。具体的には、1990年から2014年までに日本のテレビ放送で放映された8本のドラマを対象に謝罪表現を収集し、そこに見られる表現を3つの類型に分けて捉えることによって、それぞれの表現の使用の目的と相手、場面を捉えながら分析を試みるものである。

筆者は日本語を学び、日本に生活しているベトナム人の立場から、自分自身の知識、経験を生かし、複雑な日本語の謝罪表現の分析を試みたいと考えている。

1. 研究の背景

現実の社会において円滑にコミュニケーションを図るためには、様々な表現を身につける必要があり、また、それらの研究も必要不可欠である。なかでも謝罪表現に関する先行研究は多くみられ、この分野への関心の高さが窺える。

伊偉芳(2009)「ホスピタリティ産業における謝罪表現—テレビドラマ「ホテルアール」をめぐって—」(『観光学論集』第4巻・長崎国際大学国際観光学会)は、サービス産業とりわけホスピタリティ産業における謝罪表現を分析している。方法としては、2007年4月9日から6月14日まで、テレビ朝日系で放送されたテレビドラマ「ホテルアール」[1話～9話]に取材し、会話中に見られる謝罪表現を、話し相手や場面を捉えて考察している。同論は、サービス産業を舞台としたドラマを題材にしているため、ある種特別な対応をするべき相手に対しての謝罪表現を取り上げている。ドラマの中で、頻繁に使われている謝罪の言葉を「申

し訳ない系」、「失礼する系」、「すまない系」、「悪い系」、「ごめん系」の五つに分類した上で、それぞれの使用背景、使用相手、使用場面、使用回数を分析し、客に対する場合と上司に対する場合に分けて謝罪表現の特徴を論じている。

新井芳子(2003)「映像教材における謝罪表現—学習者の「気づき」の観点からの考察」(『日本語教育研究』第45号・財団法人言語文化研究所)は、日本と台湾の謝罪におけるコミュニケーションスタイルの相違を分析している。日本語教育用に作成された映像教材に最も多く現れる「すみません」「ごめんなさい」「失礼しました」「申し訳ありません(ございません)」の4つについて、その機能の検討がなされている。

また、大谷麻美(2002)「謝罪慣用 表現と謝罪心理—一日・英対照研究」(『日本英語コミュニケーション学会紀要』第1巻1号・東京日本英語コミュニケーション学会)は、話し手の心理や場面認識の言語文化間での差に着目し、日本語と英語の謝

罪慣用表現の特徴を分析している。すなわち、同じ場面における、日本語と英語の謝罪慣用表現の利用差、心理的反応や状況判断の差を指摘した上で、それがどのように影響するかを明らかにし、「英語の謝罪慣用表現は話し手志向であるのに対し、日本語の謝罪慣用表現は聞き手志向である」という点である。英語の場合、話し手の迷惑度や聞き手に対する気の毒さが高くとも、話し手に責任や後悔がなければ謝罪慣用表現は出にくいといえる。一方、日本語の場合、話し手に責任がなくとも、聞き手が迷惑を被れば謝罪慣用表現が使用されやすい。また、責任や迷惑度を超えて、聞き手の地位が謝罪慣用表現を誘発することもある」と結論付けている。

一方、感謝の表現を視野に入れた研究としては、山本もと子(2003)「謝罪の謝罪表現「すみません」—「すみません」が感謝と謝罪の両方の意味を持つわけ」(『信州大学 留学生センター紀要』第4号・信州大学)を挙げることができる。この論考では、日本語母語話者と日本語学習者を対象として、「謝罪」と「感謝」という全く別の言語行動の意味を持つ「すみません」の使用の調査を行い、分析している。結果としてその差はほとんどなく、両方とも感謝の場合は「ありがとう」、謝罪の場合は「すみません」を使用するとしている。同論では、「感謝」と「謝罪」の両方の意味を持つ「すみません」を証明するために、心理的距離、社会的距離、日本語教育、ドラマの台本などの観点からどのようなシチュエーションで話されているかを分析するという特徴があった。

同様に感謝と謝罪の表現を取り上げたものとして、小野由美子、許清平、森清隆、森勇樹(2000)「日本語母語話者にみる感謝と謝罪表現の使用—「ありがとう」「すみません」再考—」(『鳴門教育大学実技教育研究』第11号・鳴門教育大学)もある。この論考では、年齢による感謝と謝罪表現の使用の違いについて考察することを目的として、20代~60代の男女を対象に、上・下、ウチ・ソト、親・疎による表現の違いに関するアンケートを行っている。結論として、「日本語母語話者は、感謝、謝罪の場合ともに、どの表現を使用するかは、相手の行為をどのように受け取るか、自分が相手に及ぼす迷惑量、被害の大きさをどのように受け取るか個人の判断と、相手との関係によって決定している」としている。同論は、感謝と謝罪の表現を取り上げ、年代による違いについて考察を加

えている。また、日本語母語話者と中国人学習者の謝罪表現使用の違いも述べている。

2. 研究方法

本研究の目的はベトナム語母語話者の観点から日本の謝罪表現を明らかにすることである。具体的なデータ収集方法は1990年から現在までのテレビドラマ8本を利用し、ドラマから得た謝罪シーンを収集する。その上でベトナム語の語話者の観点から分析を行う。

本論に使用したドラマは、『101回目のプロポーズ』(1991)、『君のためにできること』(1992)、『振り返れば奴がいる』(1993)、『この世の果て』(1994)、『ドク』(1996)、『日本人の知らない日本語』(2010)、『マルモのおきて』(2011)、『理想の息子』(2012)である。

3. ドラマに登場する謝罪表現

8本のドラマの中から、収集した謝罪表現を…視点から分類すると以下のようにI類(「すみません」とそのパラフレーズ)、II類(「ごめん」とそのパラフレーズ)、III類(「申し訳ない」とそのパラフレーズ)に取られる。

I類とそのパラフレーズ: 94件

- 「すまない」が2件
- 「すまなかった」が1件
- 「すみません」が69件
- 「どうもすみません」が3件
- 「すみませんでした」が16件
- 「どうもすみませんでした」が3件

II類とそのパラフレーズ: 85件

- 「ごめん」が50件
- 「ごめんなさい」が35件

III類とそのパラフレーズ: 38件

- 「申し訳ない」が5件
- 「申し訳ありません」が13件
- 「申し訳ございません」が2件
- 「申し訳ありませんでした」が11件
- 「申し訳ございませんでした」が7件

その他、以上に述べた3種類の謝罪表現以外に謝罪意志を表す表現も見られたが、今回それらは、例外として扱うことにする。

4. 謝罪目的・場面・相手の観点による分析

日本語では、謝罪の際に多様な表現が用いられているが、たとえばベトナム語では、「xin lỗi」(シンロイ)を用いることが普通であり、この表現が多くベトナム母語者にとって唯一の謝罪表現であると意識されている。「xin lỗi」は、謝罪以外の場面では感謝・依頼の目的にも使われており、相手は年上であろうと年下であろうと、関係なく使うことができる。しかし、日本語の謝罪表現の場合は、目的・相手・場面などによって、以下の4.1~4.5に見られるように表現が多様に変化する。

4.1 謝罪目的で使われる

謝罪目的の中には、謝罪や後悔の意識の強さ・相手との関係などによって、謝罪表現が変化する。例えば、客のクレームに対して、謝る時は、「Ⅲ類」が最も多く使われている。友達同士であれば、「Ⅱ類」で軽く謝る場合が多い。

4.2 感謝目的で使われる

忘れ物を受け取る、相手に飲み物を取ってもらう、食事に誘われた場合にも、「OK」の代わりに、自転車を修理してもらった後という場面で感謝表現ではなく、謝罪表現が使われている。感謝の気持ちはもちろんあるが、相手に負担や迷惑がかかっているにもかかわらず、自分が利益を得ていることに対して申し訳ない気持ちも入っている。主に、Ⅰ類、Ⅱ類が用いられているが、Ⅲ類の用例はほとんど見られない。

4.3 断る目的で使われる

相手をはっきりさせたり、傷つけたりするかもしれないので前置きとして謝罪している。何かを頼まれた、誘われた時に、はっきり断わらないで謝罪し、自分の事情を述べるという遠回しの言い方である。「すみません」「ごめん」「申し訳ない」と言うだけで、相手に「出来ない」と分かっただけという曖昧表現の一つではないかと考える。したがって、Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類いずれも用いられている。

4.4 人間関係を保つ目的で使われる

相手を思いやって謝罪表現が使われている。また、相手の対応を深読みしすぎて迷惑であったと思ひ込んだり、トラブルが起こって相手を不快な

気持ちにさせてしまったことに対しても使われている。あまり親しくない人に対しては丁寧な使い方、仲が良い友達や家族、目下に対しては「ごめん」または「ごめんね」のような軽い謝罪表現が使われている。Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類の表現パターンの面では、謝罪の相手によって使い分けられる傾向がある。

4.5 挨拶目的で使われる

知らない人、名前が分からない人、初対面の人、又は緊急の場合に呼ぶ人を特定していない時にⅠ類が用いられているが、Ⅱ類、Ⅲ類はほとんどこの場合には使用されていない。

5. 分析結果

ドラマから取り上げた用例の数が限られているが、目的・場面・相手の観点から分析した結果を現在の段階で、以下のようにまとめることができる。

5.1 Ⅰ類（「すみません」とそのパラフレーズ）

「Ⅰ類」は他の種類より最も使われている。「謝罪」、「依頼」、「感謝」、「呼びかけ」「断る」の目的としている。相手は年上・親しくない人・知らない人に対して使用する場合が多い。

一方で、年下・親しい人に対しては、「すまん」「すまない」という使い分けも見られている。この場合は男性がほとんどである。

5.2 Ⅱ類（「ごめん」とそのパラフレーズ）

Ⅱ類は、全体的にⅠ類次いで、使用回数も多く、頻繁に使われている。主に、「謝罪」の目的で使われているが、時には、「感謝」の目的で使われる場合もある。

「ごめんなさい」は目上・親しくない人に使われるシーンが多い。特に、子供の謝罪表現の場合には、99%の高率でⅡ類の「ごめんなさい」が用いられている。

また、Ⅱ類の「ごめんね」の使用主体は、ほとんどが女性であり、主に友達同士、目下に対して使われている。

5.3 Ⅲ類（「申し訳ない」とそのパラフレーズ）

Ⅲ類は、ビジネス場面において、よく使われている。相手は上司・同僚・客である。Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類の中で、最も丁寧な表現が求められる場面で、「謝罪」あるいは、「謝罪の前提」を目的として使

用されている。

6. 今後の課題

以上により、Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類の表現類型と目的との相関関係については、ある程度言及することが可能となったが、今後さらに「相手」と「場面」を視点とする考察を深めていく必要がある。そのような考察を通じて、日本語が持っている「謝罪」とは、本来どのような意識から生じ、また、その際に、相手や場面にしたがってどのような表現が選択されているのか、そのシステムを明らかにすることが今後の課題として残されている。また、現時点ではベトナム語との関連について深く言及できていないが、日本語の代表的な謝罪表現である「すみません」とベトナムの唯一と意識されている謝罪表現である「xin lỗi」(シンロイー)を深く検討し、相違点を探っていく必要があると考える。

付記

本研究は、大妻女子大学人間生活文化研究所「大学院生研究助成(B)(DB2605)」の助成を受けたものである。

参考文献

- [1] 小野由美子, 許清平, 森清隆, 森勇樹 (2000) 「日本語母語話者にみる感謝と謝罪表現の使用—「ありがとう」「すみません」再考—」『鳴門教育大学実技教育研究』第11号・鳴門教育大学
- [2] 小森万里 (2001) 「すみませんの意味・機能」『近畿大学語学センター紀要』・近畿大学語学センター
- [3] 大谷麻美 (2002) 「謝罪慣用表現と謝罪心理—日・英対照研究」『日本英語コミュニケーション学

会紀要』第1巻1号・東京日本英語コミュニケーション学会

[4] 新井芳子 (2003) 「映像教材における謝罪表現—学習者の「気づき」の観点からの考察」『日本語教育研究』第45号・財団法人言語文化研究所

[5] 山本もと子 (2003) 「謝罪の謝罪表現「すみません」—「すみません」が感謝と謝罪の両方の意味を持つわけ」『信州大学留学生センター紀要』第4号・信州大学

[6] ロング・クリストファー (2004) 「日本語の「感謝」における謝罪表現とそれを規定する要因」『Lingua』第15号・上智大学一般外国語教育センター

[7] 橋本 和孝 (2004) 「生活文化とコミュニケーション—日本とベトナム」『関東学院大学文学部紀要』第102号・関東学院大学人文科学研究科

[8] 崔春愛 (2007) 「すみませんの持つ意味—関連性理論の観点から—」『言語文化教育学会』第6回大会発表記録・言語文化教育学会

[9] 浜由依 (2009) 「日独における謝罪表現の規定要因—社会的・文化的要因から解く—」『日本語用論学会大会発表論文集』第5号・日本語用論学会事務局

[10] 伊偉芳 (2009) 「ホスピタリティ産業における謝罪表現—テレビドラマ「ホテルアー」をめぐって—」『観光学論集』第4巻・長崎国際大学国際観光学会

[11] 佐藤啓生 (2011) 「現代日本語の謝罪言葉に関する研究」『岩手大学大学院人文社会科学研究所紀要』第20号・岩手大学大学院

Abstract

Research into Japanese apology expressions has been conducted for many years. This study looks at more specific objectives of apology expressions, and considers them more deeply. Specifically data for eight Japanese dramas from 1990 to 2014 was collected and classified into three expression types. Then it was analyzed with respect to the purpose and situation.

(受付日: 2015年6月10日, 受理日: 2015年8月3日)

NGUYEN THI HOA MY (グエン ティ ホア ミイ)

現職：大妻女子大学大学院人間文化研究科言語文化学専攻国際文化専修修士2年

ベトナムヴァンヒエン大学東洋学部卒業.

国際文化について学んでいる.